

平成29年 消防白書



あなたとともに
地域を守る



湖南広域消防局



【火災は前年比15件減少】

平成28年中の火災件数は49件で、前年と比較して15件減少しました。89件を記録した平成20年以降おおむね減少傾向となっています。

【出火率は1.5件/万人】

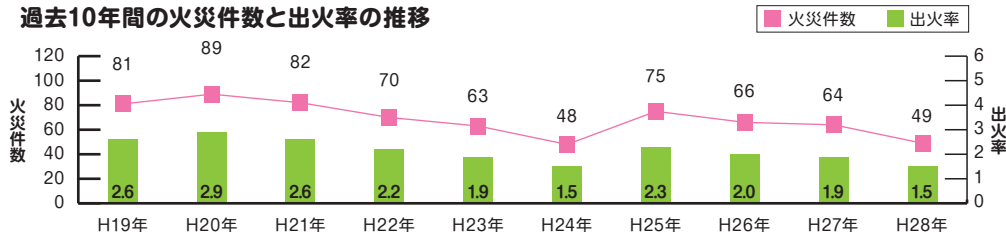
平成28年中の出火率（人口1万人当たりの出火件数）は1.5件で、前年と比較して0.4件減少しました。昨年に引き続き、全国平均2.9件（平成28年数値）及び滋賀県平均3.2件（平成28年数値）を大きく下回りました。

【出火原因の第1位は「たばこ」など】

平成28年中の出火原因は、「たばこ」「放火（疑い）」「天ぷら鍋放置」が各5件で最も多く、次いで、「たき火」及び「電気機器」が各4件となりました。



過去10年間の火災件数と出火率の推移



【救助出動件数は前年より増加】

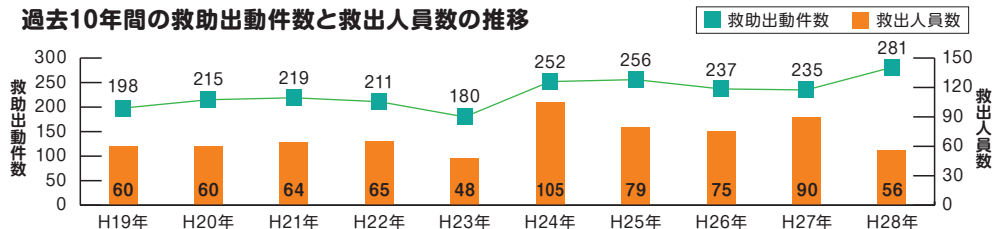
平成28年中の救助出動件数は、281件で前年と比較して41件増加しました。このうち最も多いのは「交通事故」の80件で、次いで「火災」の61件、「建物等による事故」の38件となりました。

【56人を救出】

平成28年中の救助出動件数281件のうち、救助活動を行った件数は53件で、56人を救出しました。



過去10年間の救助出動件数と救出人員数の推移



【救急出動は40分に1件】

平成28年中の救急出動件数は13,125件で、前年と比較して103件減少しました。1日あたり35.9件、約40分に1件の割合で出動しています。平成28年の件数は、前年と比較して減少に転じましたが、人口増加や高齢化の進展により、今後、増加することが予測されます。

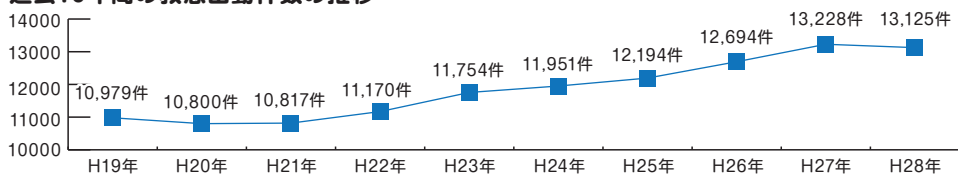
【救急搬送の6割が軽症】

平成28年中の救急搬送の種別は、「急病」が最も多く全体の65.1%、次いで「一般負傷」が13.8%、「交通事故」が12.0%となりました。また、救急車で搬送した傷病者の約6割が入院を必要としない軽症患者であり、救急車を必要としている重篤な傷病者のためにも救急車の適正利用にご協力をお願いします。

【救命率は35.9%】

平成28年中に救急搬送された心肺停止症例237件のうち、市民の目撃がある心原性（心臓に原因があるもの）の症例は39件でした。そのうち、市民による応急手当や救急隊員による救命処置等により回復し、その後1ヶ月以上生存された方の割合は35.9%（14件）でした。

過去10年間の救急出動件数の推移





【119番受信は29分に1件】

平成28年中の119番受信件数は18,003件で、前年と比較して40件減少しました。

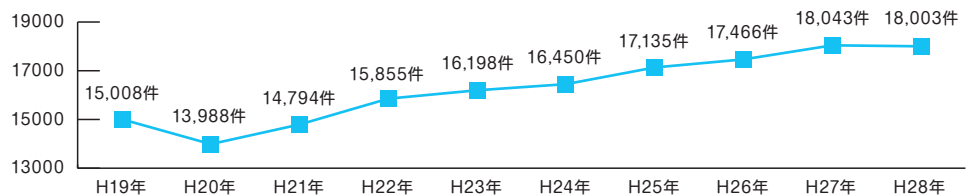
1日あたりでは49.2件、約29分に1件の割合で119番受信がありました。この10年では、平成21年から増加傾向にありましたが、平成28年は、減少に転じました。

【総受信の7割弱が救急要請】

平成28年中の119番受信件数の内訳は、「救急」が全体の68.7%、「火災」が全体の0.8%となりました。また、「いたすら」や「無言等間違い」、「問い合わせ」等の目的外受信は、全体の17.1%となっています。

	受信件数
火 災	152
救 急	12,375
救 助	56
災害その他	225
問い合わせ	1,165
無言等間違いいたすら	1,647
回線試験通報訓練	2,117
そ の 他	266
合 計	18,003

過去10年間の119番受信件数の推移



【495自治会が自主防災組織を結成】

平成29年4月1日現在、管内502自治会中495自治会で自主防災組織が結成されています。自治会ごとに担当者を置く、地域担当制度により、自治会との密接な関係を図りながら平成26年度に策定した、防災基本指針に基づく各種訓練を指導するなど地域防災力の向上に努めています。

【住宅用火災警報器設置率は86.9%】

管内の設置率は平成28年6月1日現在86.9%で、全国平均81.2%、滋賀県平均83.1%を上回り、奏功事例も多数報告されています。今後も住宅用火災警報器の設置とともに、古くなった本体の交換についても積極的な広報に努めていきます。

【年間9,363人が地震体験】

平成28年度中に自治会や事業所、学校等が実施する防災訓練に防災指導車（グラドン号）が208回出向し、9,363人が過去に発生した地震の揺れを体験されました。

		草津市	守山市	栗東市	野洲市	合 計
①	自治会数	209	70	131	92	502
	自主防災組織数	204	70	129	92	495
	結成率	97.6%	100%	98.4%	100%	98.6%
②	消防訓練	216回	125回	122回	120回	583回
	DIG 訓練	75回	8回	6回	14回	103回
	シナリオレス訓練	76回	26回	7回	16回	125回

①平成29年4月1日現在 ②平成28年度中の訓練実施回数

※DIG訓練…図面上で地域の危険箇所等を把握する訓練

※シナリオレス訓練…その場で訓練想定が与えられる訓練



【532件の消防法令違反が改修】

平成28年度中の建物等への査察件数は3,145件でした。

また、重大な消防法令違反に対し、是正指導を行った結果、532件が改修されました。

平成29年3月31日現在

	防火対象物数	危険物施設数
草津市	3,806	279
守山市	2,234	305
栗東市	2,919	247
野洲市	1,728	229
合 計	10,687	1,060

平成28年度

	草津市	守山市	栗東市	野洲市	合 計
査察件数	1,147	759	659	580	3,145
違反是正件数	116(28)	182(49)	177(17)	57(10)	532(104)

※（ ）内は、是正件数の内、平成28年度より過去に覚知した違反が是正されたもの



第1回予防業務優良事例表彰で 湖南広域消防局が表彰されました。

予防業務優良表彰は、火災予防の分野で、他の消防本部の模範となる優れた事例を広く全国に紹介することにより、各消防本部の業務改善に繋げることを目的として、平成28年度に総務省消防庁において創設され、有識者による審査の結果、応募した82消防本部のうち12の消防本部が第1回目の表彰を受けました。

当消防局は、平成27年度以降、予防担当者研修を随時行い、職員の意識改革、資質向上に対する取り組みや積極的に体制改革を実施した結果、重大な消防法令違反が早期に改善された割合が高まるなど、着実な効果が数値にも現われており、他消防本部において非常に参考となる事例であると評価をいただき、入賞となりました。

これからも管内住民の安心、安全な生活を守るため、組織一丸となって、火災予防をはじめ、消防業務を進めてまいります。



▲表彰状

▼予防担当者研修の様子



KONAN FIRE STATION



消防局・中消防署



中消防署出張所



東消防署



東消防署出張所



西消防署



南消防署



北消防署



北消防署出張所

- ★消防局——栗東市小柿三丁目1番1号 Tel.077-552-1234
- ★中消防署——栗東市小柿三丁目1番1号 Tel.077-552-0119
(消防局と併設)
- ★中出張所——栗東市御園字伝坊1926番地 Tel.077-558-0119
- ★東消防署——野洲市辻町488番地 Tel.077-587-1119
- ★東出張所——野洲市西河原2400番地 Tel.077-589-3119
- ★西消防署——草津市上笠町477番地1 Tel.077-568-0119
- ★南消防署——草津市野路九丁目1番46号 Tel.077-564-4951
- ★北消防署——守山市石田町377番地1 Tel.077-584-2119
- ★北出張所——守山市洲本町字山科1260番地 Tel.077-585-0119

湖南広域消防局は琵琶湖の南部に位置し、豊かな自然と歴史文化に恵まれた草津市・守山市・栗東市・野洲市を管轄しています。

地理的・歴史的・行政的につなぐの深い4市が連携し、管内住民の安心・安全を守るため、効率的な消防防災行政に取り組んでいます。

人口データ (平成29年4月1日現在)

	人口	世帯数
草津市	131,846	56,520
守山市	82,148	31,142
栗東市	68,259	26,809
野洲市	50,874	19,482
合計	333,127	133,953



湖南広域消防局

〒520-3024 滋賀県栗東市小柿三丁目1番1号
TEL077-552-1234 FAX077-552-0988
<http://www.konan-kouiki.jp/>

